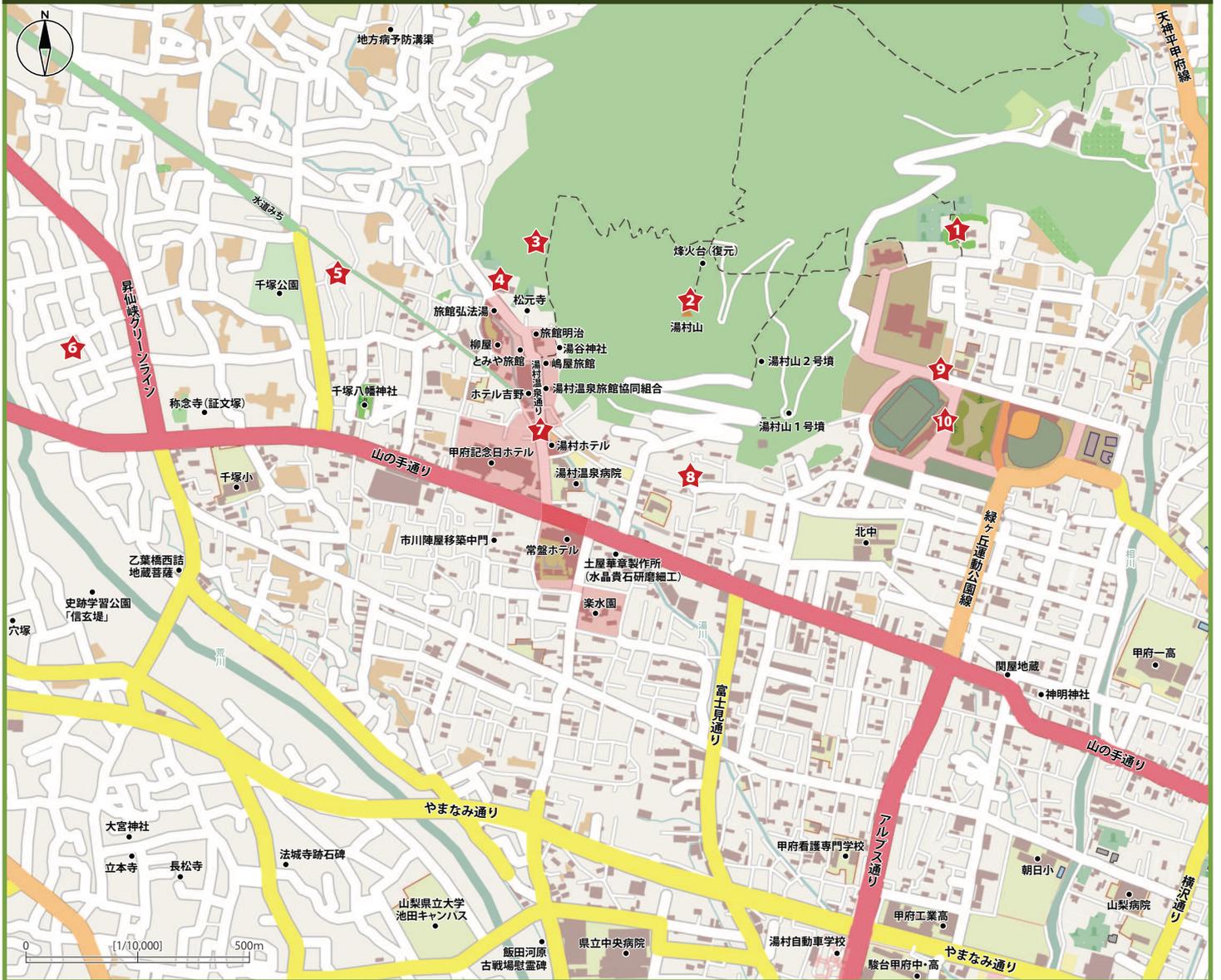


甲府市散策マップ (湯村方面コース)



散策マップのポイント

★ 法泉寺

臨済宗の名刹。甲府五山、南北朝時代に足利尊氏の信任が篤い武田信武が夢窓疎石を招いて開いたとされる。武田勝頼が織田・徳川連合軍に敗れ、京都五条の河原に晒されていたところ、その髪と齒をもらい受け、当寺に埋葬したと伝わる。

★ 湯村山城跡

武田信虎によって築かれた山城。長野方面や甲府盆地一帯の見晴らしがよい。土臺や石積みを見ることができ、一の郭跡にある石で囲われた井戸も見どころ。【甲府市指定史跡】

★ 大平1号墳(こうもり塚)・大平2号墳(地蔵塚)

奥にあるのが1号墳、手前が2号墳。横穴式石室が好ましい。内部を懐中電灯で照らすと見える一番奥の壁に、縦に置かれた2つの岩が印象的。

★ 塩澤寺

弘法大師が開いたといわれる真言宗のお寺。国の重要文化財の地蔵堂。県有形文化財の石地蔵や板碑、無縫塔など、たくさん文化財がある。毎年2月13日、14日に行われる厄除地蔵尊祭は多くの人で賑わう。

★ 加牟那塚古墳

6世紀後半の田墳。長さ16mの横穴式石室は県内で一番目に大きく、使われた石材も大きい。家形埴輪や人物埴輪などが見つかった。墳丘に登ると富士山が見える。【県指定史跡】

★ 攀桂寺

武田の重臣・跡部伊賀守信秋が元龜二年(1571年)に創立した曹洞宗の古刹。寺名は創め「敷蔵寺」と称したが、信秋の号である「攀桂斎」をとって「攀桂寺」と改めた。境内には信秋公の墓所が静かに佇む。跡部氏は勝頼の代まで側近として仕え、武田家と運命を共にした忠義の一族である。

★ 湯村温泉郷

約1200年前に弘法大師が開いたといわれ、毎分約1トンの良質な温泉が湧出している。江戸時代には湯師北斎の浮世絵にも描かれた。太宰治や松本清張などが執筆のために滞在した宿もある。

★ 万寿森古墳

6世紀半ば頃に造られた田墳。果てて一番目へ、三番目と大きい横穴式石室の古墳。江戸時代には火薬庫として利用されていた。【県指定史跡】

★ 塩部寿のフジ(県指定天然記念物)

別名「ノナツシ」という種で、指定された昭和34年当時は根回り3.2m、地上1.5m、幹囲176m、地上約2mで3枝に分かれ、枝張り面積266㎡の樹作りであった。県道拡幅工事に伴い、昭和48年に現在地に移植された。現在指定当時よりは規模が小さくなっているが、枝張りはよく、美花を咲かせている。

★ 緑が丘スポーツ公園

山梨県が昭和27年に県を代表するスポーツ施設として設置した。当初はテニス場として整備され、その後野球場や水泳場が次々と整備された。県民のスポーツの振興並びに体力増強のための施設として貢献している。【8時30分〜17時30分、月曜休】